

**質問** 量産決定後の事故の状況について教えてください。

- ◎ 2005年の米国政府によるMV-22の量産決定以降、2件の大きな飛行事故が発生しましたが、原因究明を行い、より安全性を高めるための努力をしています。

■ 量産決定以降に発生したMV-22の主要な事故

▶ 2007年11月6日の事故

- ニューリバー基地の周辺で飛行中にエンジン部から出火し、着陸帯に着陸。乗員は無事。
- エンジン及びエンジンナセル部が損傷を受けた。

事故原因

- ナセル部分の油圧ラインの破損による油の漏出。



事故後の対策

- 油漏れを最小限にするため、油圧部をより迅速に遮断するよう改良。
- 漏れた油を回避させる排出ルートを改良。
- 破損防止のため、油圧ラインを強化。

▶ 2012年4月11日の事故

- モロッコ軍との二国間演習「アフリカのライオン」に参加中、モロッコのアガディール南西のモロッコ軍訓練場に墜落。
- 乗員4名中2名が死亡、2名が重傷を負った。

事故原因

- マニュアルで、回避すべき相対風領域等に入ったこと及び禁止されているナセル操作等を行うなどの複合要因による人的要因。



事故後の対策

- 事故の教訓を踏まえた訓練の実施。
- 機長の監督責任の実施。

- ◎ MV-22は、一貫して海兵隊航空機の平均を上回る安全記録を示しています。